平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

平成 2 0 年度「岐阜県かるさと教育週间」 美胞報言書						
学 校 名	岐阜市立網代小学校					
実施期間	平成26年11月23日(日)					
実施概要	①家族参観②音読発表、うたごえ発表③親子で聞こう人権の話④親子ふれあい活動1 (親子ふれあいネイチャーゲーム)⑤親子ふれあい活動2 (親子ふれあいドッジボール)⑥親子で昼食会(豚汁、親子で作ったおにぎり弁当)					
実 施 内 容	学習・取組のレ自然	分野 □歴史	巨文化	□産業	レそ	の他
	公開の方法 □授業公開 □成果発表 □交流活動 □講演会等 □地域行事等参加 □その他					
来校者数	保護者	8 7	人		107 人	
	地域関係者	2 0		計		人
○授業参観 祖父母、父母、妹弟等家族全員での参加が多かった。 ○音読発表、うたごえ発表 毎日練習している音読の発表と本校の重点活動の一つである「うたごえ」 の成果を保護者や地域の方に聞いていただいた。 ○親子で聞こう人権の話 講師:法務省人権擁護委員 毛利義雄 氏 「命と心を大切にする」内容。SOSミニレターから具体的な相談内容を紹介し、「一人で悩まないでください」というメッセージをいただいた。 ○親子ふれあい活動1 (ネイチャーゲーム)自然に関わる問題を親子で一緒に考えるゲームを行った。校庭に全ての答えがあり、親子で相談しながら問題を解いた。 ○親子ふれあい活動2 (ドッジボール)親子が同じチーム、親子が敵チームという組み合わせでドッジボールを行った。 ○親子で昼食会 地域の方やPTAの方の協力で豚汁を作り、全校児童とその保護者、地域の方々と一緒に食事をした。親子で作ったおにぎりを持参して、一緒に食べた。						

- ・うたごえ発表は、日頃の練習の成果を保護者の方や地域の方に聞いていただく機会になった。
- ・人権のお話は、みんなが楽しく元気に生活するために、一人で悩まないで相談すればいいことを教えていただいた。また、人権とは、周りの人 そして自分自身の「いのちとこころを大切にする」ことを教えていただいた。
- ・親子ふれあい活動では、親子で相談しながら問題を解き、学校にある自然に触れ、親が子、子が親について、さらに自然について新しい発見ができた。
- ・ドッジボールは、子どもの成長と親の凄さを知ることができた。

成果及び課題

<成果>

- ・親子で同じ人権の話を聞いたり、一緒に問題を解いたり、ドッジボール をしたりして同じ時間をもつことで、共通の話題ができた。
- ・日頃から取り組んでいる「うたごえ」や「音読」の発表を聞いていただき、児童のがんばりを認めていただくことができた。

<課題>

・どの活動も内容が充実していて、よい時間を過ごすことができたが、じっくりゆとりをもって活動できるように、内容を工夫していく。